

5・3 憲法集会 inいわて挨拶 (2019.5.3)

憲法集会にご参加の皆さんに、日本共産党を代表して心からの連帯のあいさつを送ります。

今日の岩手日報1面の見出しには「憲法 重大な岐路」「首相、9条改正めざす」とありました。朝日の1面には、「改憲機運高まらず—72%」と報道されています。ここには、安倍首相の憲法9条改憲への異常な執念と、安倍改憲に反対する国民の運動の高まりが示されているのではないのでしょうか。

9条に自衛隊を明記することは、9条の1項、2項を死文化し、文字通り軍隊として海外で戦争する国づくりを進めることになることは明らかです。いま必要なことは、憲法を変えることではなく、憲法をないがしろにしてきた安倍政治を変えることではないのでしょうか。

今日の朝日新聞の憲法に関する世論調査では、「憲法9条を変えないほうが良い」が64%、「安倍政権のもとでの憲法改正に反対」が52%となっています。3000万署名をはじめとする私たちの運動をさらに広げ、7月の参院選挙で安倍自公政権にきっぱりとした審判を下し、改憲策動に終止符を打とうではありませんか。

今、安倍政権はあらゆる問題で追い詰められています。安倍首相の側近の萩生田自民党幹事長代行は「景気がこの先危ないぞと見えてきたら、がけに向かってみんなを連れて行くわけにはいかない」と、10月増税実施見送りもあり得ると発言しました。必ず消費税10%増税を中止に追い込みましょう。

参院選挙勝利のカギは、市民と野党の共闘です。全国32の1人区全てで必ず市民と野党の本気の共闘を実現し、安倍政権を参院で過半数割れに追い込みましょう。岩手では共産、自由、社民の3党が横澤高德さんを野党統一候補に決定し、県内各地を駆け巡っています。「弱者にやさしい社会はみんなにやさしい社会」の訴えと人柄は、どこでも大きな共感と感動を広げています。野党共闘の源流である岩手でこそ、県内野党の本気の共闘に発展させ、必ず勝利できるものと確信しています。

皆さんと力を合わせて憲法を守り生かす政治の実現に全力で取り組むことを表明し連帯のあいさつといたします。